

財務データを360度ビューで 戦略的に管理

メリット

- ・財務業務担当者のセルフサービス環境を確立して、テクノロジーとデータを活用した迅速かつ効果的な財務組織づくりを実現
- ・すべての財務およびレポーティングアプリケーションの全財務データと参考データ、またこれらに対応する階層と属性のバリエーションの作成、編集、オーケストレーションが可能
- ・全社規模で財務の参考データを管理することで、IT部門の負担を軽減し、時間とコストを削減
- ・拡張可能なクラウドベースのソリューションによりマスターデータ管理 (MDM) イニシアチブの効果を最短期間で最大化

財務データと参考データの作成、編集、更新のオーケストレーションをクラウドで一元化

勘定科目表、コストセンター、勘定科目コード、業務部門、プロジェクト、法人、また請求コードや分類法、地域コード、商品分類といったコアな参考データなど、財務データにはさまざまな名称があります。アジャイル環境における条件付きロジックや検証ルールの定義を含め、財務の業務担当者がIT部門の助けを借りることなく新しい財務データセットを定義できるセルフサービス式のモジュールを提供することは、正確なレポートの作成、法規制へのコンプライアンス、最終的にはデータを理解することにつながる重要な一歩となります。

Informatica® MDM - Finance 360によって、US GAAP (一般に公正妥当と認められる会計原則) や IFRS (国際会計基準) のバージョンなどシステムに固有の階層や属性が必要な環境や、異なるコストセンターの積み上げでも、財務データの更新を簡単に作成、編集し、全体を調整 (オーケストレーション) することができます。なによりも、Finance 360のセルフサービス式のモジュールによって、財務担当者は大量のリソースを必要とするITリリース管理サイクルを通さずに、新しい財務データセット/ルールを定義できます。

MDM-Finance 360は、業界先進の完全なクラウド対応360ソリューションです。簡単にセットアップして参考データのライフサイクル全体を管理できるだけでなく、業務担当者向けのセルフサービス機能も提供します。

このソリューションの特長は次のとおりです。

- ・業務担当者も使いやすいカスタマイズ可能なユーザーインターフェイス
- ・業務担当者による参考データのセルフサービス管理が可能
- ・役割に基づいた承認とパブリッシュのワークフロー
- ・インポート、階層管理、バージョン管理、エクスポート機能を備えた完全なライフサイクル管理
- ・クラウドの柔軟性と俊敏性

財務データ管理

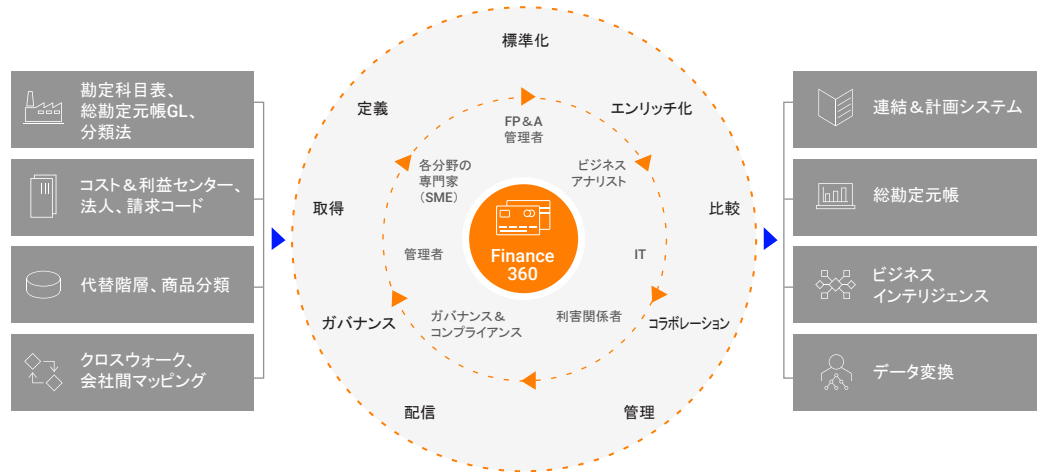


図1：次世代の財務および参考データ管理を実現。

主な機能

クラウド環境で完全な機能を提供

複雑な財務および参考データ情報をクラウド環境で一元管理するために必要なパフォーマンス、拡張性、生産性をサポートできるのは、インフォマティカだけです。Informatica Intelligent Cloud ServicesSMを通じて提供されるInformatica MDM - Finance 360ソリューションは完全な機能を備え、自動アップグレードとフィックスを通じて最新機能と強化機能を提供します。

クロスウォークマッピング

Finance 360では、複数のクロスウォークマッピングを作成およびインポート/エクスポートできるとともに、財務階層や関係、関連付けられている属性およびマッピングの変更管理と改善措置に対応することができます。コアの機能には、サイドバイサイドのマッピング、階層の視覚化、マッピング中に値を簡単にマッピングできる一括マッピングも含まれています。また、Finance 360は完全な変更管理の監査とトレーサビリティによる階層の比較もサポートしています。

真の360度ビュー

MDM - Finance 360は、財務データと参考データの作成、編集、更新のオーケストレーションを一元化することで、手作業を大幅に減らしながら、ERPシステムの移行とアップグレードを大幅に高速化することができます。これには、システムコード、マッピング、相当値、検証ロジック、ビジネスロジック、システム統合が含まれます。SAPやOracle EBSなどの主要なERPシステムと迅速に統合できるため、コーディングやIT部門の関与を必要としない、シームレスな統合を実現します。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要なとされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

主なメリット

財務業務担当者のエンパワメントを実現

堅牢性、柔軟性、信頼性に優れたフレームワークにより、財務および参考データの360度ビューを全社レベルで確立することで、競争優位性を獲得し、コンプライアンスを確保できます。セルフサービス式の使いやすいインターフェイスにより、業務責任者は財務および参考データセット、階層、クロスワークから真の価値を引き出すことができます。MDM - Finance 360は、参考データセットの複雑なライフサイクルを管理するための、柔軟性と拡張性に優れたエンタープライズ対応のエンドツーエンドソリューションです。

一元化された財務ガバナンス、監査証跡、米企業改革法（SOX法）へのコンプライアンス

財務および参考データセットを定義して管理し、そのセキュリティを確保することで、法規制やランザクシオンへのコンプライアンスに沿って正確なデータを使用できます。エンタープライズアプリケーションにおける財務および参考データの不一致（およびこれに伴う運用面の負担）と、このデータの管理に関連する運用面の負担を排除します。Finance 360は米SOX法に完全準拠しており、データの完全なトレーサビリティ、履歴、リネージをサポートしています。さらに、すべてのデータ変更、承認、タスクには日付と時刻のタイムスタンプが付いています。これらの機能を監査で活用し、データの不一致に対処することができます。

クラウドベースの卓越した拡張性と柔軟性

カスタマイズ可能な使いやすいダッシュボードで、財務および参考データセットの品質を制御して、ライフサイクル全体を管理できます。これによって参考データの履歴とカタログの管理を簡素化できるだけでなく、カスタマイズ可能なワークフローを用いてデータのオーサリングを実行できます。MDM - Finance 360はクラウドベースのソリューションであるため、MDMイニシアチブの価値も短時間で引き出すことができます。クラウド環境でエンタープライズ規模の拡張性を実現できるように構築されているMDM - Finance 360は、最も高い要件が求められるビジネスイニシアチブをサポートしながら、高い価値を迅速に提供します。



〒105-6226

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600（代表）FAX：03-3433-1021

IN17_0920_03948

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica, Informatica ロゴ、および Informatica Intelligent Cloud Services は、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html> をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。